

編 集 後 記

新年明けましておめでとうございます。

「総合リハビリテーション」はこの度、5 回目の新春を迎えることができました。この間、読者の皆様方のご後援を得て、着実な歩みを迎えることが出来たことを厚く御礼申し上げます。

さて、今月の特集は、来月にかけての2号つづきの特集として、心疾患のリハビリテーションをおとどけします。このテーマはリハに従事する者にとっては極めて関心の大きなテーマであると思います。

心筋硬塞のリハビリテーションについて土肥豊氏は運動療法の進め方を極めて具体的に实际的に述べられ、狭心症のリハビリテーションでは長谷川武志氏・他が冠硬化症に対する運動療法を酸素消費量と負荷心電図を尺度としてわかり易く解説され、人工ペースメーカー植込み患者のリハビリテーションについて堀原一氏は、近年わが国でも広く普及するようになった人工ペースメーカーの解説と、その植込み患者の追跡調査の紹介をされた。

そしてこれらの虚血性心疾患がしばしば合併する脳卒中後片麻痺に関して、中村昭氏はその頻度と各心電図所見のリハ訓練による影響、および心疾患に関するリスク管理について述べられた。更に特殊な新しい領域として心疾患児の教育について永峯博氏はその豊富な経験を紹介された。以上特集の5論文はリハ医療にたずさわる者にとっては何れも極めて有益なものと思われる。

講座は今月から土屋和夫氏の総論と歴史を皮切りに歩行分析が始まった。このテーマは最近多くの研究者の目をひきつけており、学会発表演題数も多く、期待される所の大きい講座である。これに符合して本号の巻頭言がわが国における歩行分析研究の先達である飯野先生によって飾られたことは誠に慶こばしい。歩行分析研究に大きな足跡をのこされた先生から氷山の一角を掻きとったにすぎないといわれては、後につづくわれわれは解明すべき対象の大きさに、あらためて身のひきしまる思いがする次第である。（横山 巖）

次 号 予 告 (第5巻第2号)

特 集 心疾患のリハビリテーション II

心疾患とエネルギー代謝……………	順大	南 谷 和 利
心臓外科手術後のフォローアップ……………	三井記念病院	古 田 昭 一
冠動脈造影法の現況……………	虎の門病院	山 口 洋
冠動脈外科の現況……………	順大	鈴 木 章 夫
β 受容体反応性亢進状態—特発性過動心症候群……………	札幌医大	宮 原 光 夫・他
頻拍警報装置……………	東大	紅 露 恒 男・他
講 座 歩行分析 (II) ……………	労災義肢センター	土 屋 和 夫

編集顧問

天 児 民 和
大 島 良 雄
小 池 文 英
砂 原 茂 一
津 山 直 一
水 野 祥 太 郎

編集委員

明 石 謙
上 田 敏
大 井 淑 雄
大 川 嗣 雄
荻 島 秀 男
土 屋 弘 吉
横 山 巖

編集同人

赤 津 隆
今 田 拓
今 村 哲 夫
江 口 寿 栄 夫
小 野 啓 郎
河 邨 文 一 郎
五 味 重 春
沢 村 誠 志
杉 山 尚
武 智 秀 夫
永 井 昌 夫
中 村 隆 一
野 島 元 雄
間 得 之
長 谷 川 恒 雄
橋 倉 一 裕
平 方 義 信
福 井 閑 彦
三 島 博 信
渡 辺 英 夫
飯 田 卯 之 吉
遠 藤 千 恵 子
小 川 孟
加 藤 一 郎
小 島 蓉 子
笹 沼 澄 子
鈴 木 明 子
高 田 玲 子
陳 慧 玉
土 屋 和 夫
松 村 秩
(以上五十音順、敬称略)

(細田、鹿島)